



平成25年2月14日

都電荒川線に初めてホース横断溝を設置！！

～過去の火災を教訓に都交通局と東京消防庁が協力～

昨年1月21日、北区王子でJRの送電ケーブルなどが焼損し、鉄道の利用客など約23万人に影響が出る火災が発生しました。この火災では、都電荒川線でも消火に使用したホースが線路の一部にかかったことから、約2時間半にわたって運転を見合わせ、50本が運休したことにより約4000人に影響が出ました。

東京消防庁と都交通局はこの火災をうけて協議を重ね、このたび都電荒川線で初めてとなるホース横断溝（別紙参照）を設置しました。このことにより、ホース横断溝を設置した場所では、列車の運行を妨げることなく消火活動が可能になります。今回、このホース横断溝を活用した放水訓練を実施いたします。

- 1 日時
平成25年2月16日（土）10時00分から10時40分まで
- 2 場所
荒川区荒川一丁目2番から8番付近（区立荒川一丁目広場）※別紙参照
- 3 参加人員
34名（消防隊員14名、消防団員5名、災害時支援ボランティア5名、地元町会10名）
- 4 タイムスケジュール

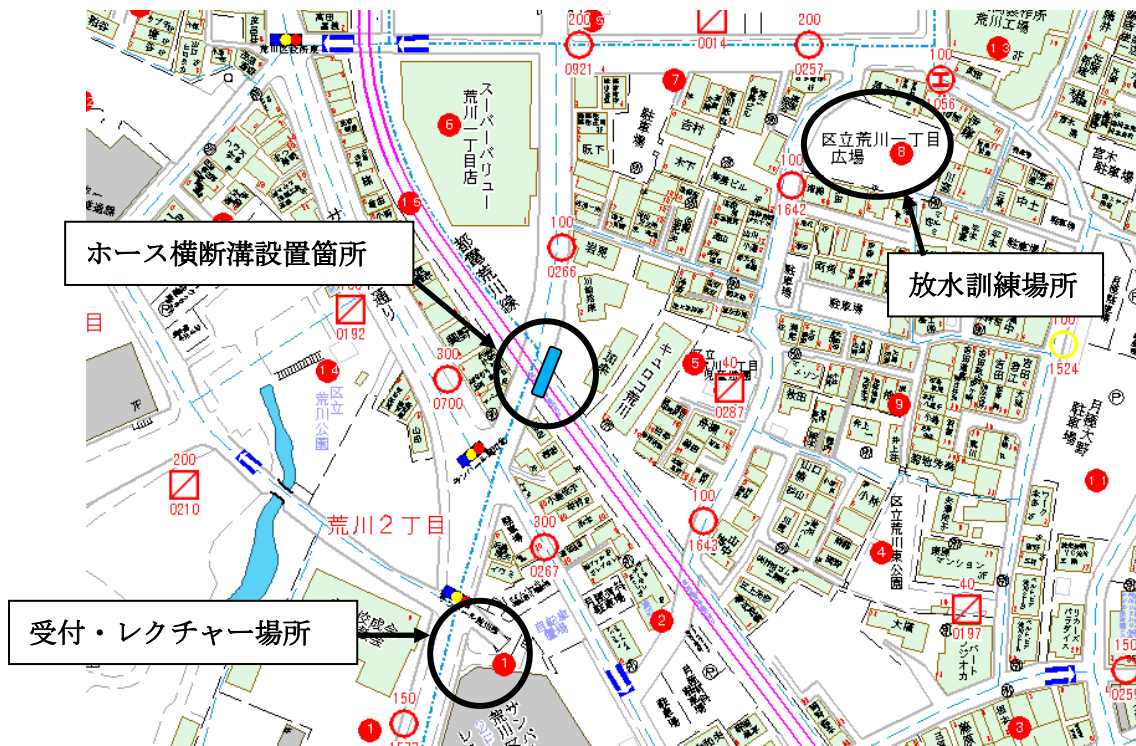
時間経過	内容
10時00分	訓練開始（消防隊、消防団隊出場）
10時01分	地元町会による初期消火活動（区立荒川一丁目広場）
10時05分	消防隊及び消防団隊現着、ホース延長（ホース横断溝活用）
10時20分	一斉放水（区立荒川一丁目広場）

- 5 取材に関して
 - (1) 取材を希望される場合は、事前に広報課報道係までご連絡ください。
 - (2) 当日の9時40分から事前レクチャーを行いますので、サンパール荒川（荒川区荒川1-1-1）北側の駐輪スペースにお集りください。
 - (3) 取材時は、必ず自社腕章を着用してください。
 - (4) 駐車場はございませんので、予めご了承ください。



問合せ先
東京消防庁（代）03-3212-2111
警防課消防係 内線 3565
広報課報道係 内線 2345～2350

訓練場所等



ホース横断溝とは

火災が発生すると、消防隊は周囲にある消火栓や防火水槽等から消防ポンプ車によりホースを延長して活動します。人命救助のために緊急の必要がある場合には、都電の線路を横断してホースを延長しなければなりません。ホース横断溝を活用すれば列車の運行を妨げることなく消防活動を実施することが可能となります。

